

- 出品資格：五段以上。●用紙サイズは半切縦か角半。
- A・B課題は同時出品可能。同時出品の場合は出品券の下部にA・Bを明記すること。
- 条幅出品券を作品の右下に必ず貼付すること。(作品の裏右下には鉛筆で段位と氏名も忘れず記入)

先日、二回目となる師範・準師範検定試験対策講座を開催、たくさんの方にご参加いただきました。過去の問題をもとに練習していただく中で、短歌を半紙に創作する課題に多くの方が苦労されておりました。条幅課題は、この条幅研究で日頃から練習されていて堂々の書きぶりでしたが、半紙創作は慣れておられないと感じました。その対策として、毎月条幅課題を、半紙にも創作して練習を積み重ねてください。そして、その半紙創作は、角半作品にも活用できます。ぜひお試しを。

かな部 次号課題

A かたはらに秋ぐさの花かたるらく

(若山牧水)

ほろびしものはなつかしきかな

(わたしのかたわらで秋草の花が語りかける。滅んだものはすべて懐しいと、わたしも思うのだ。)

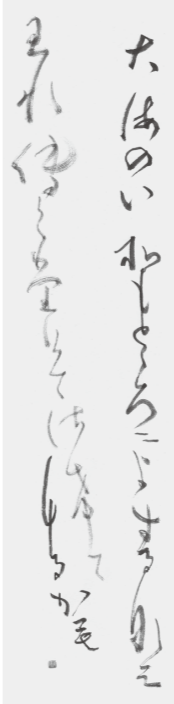
B 野ざらしを心に風のしむ身哉

(松尾芭蕉)

貞享元年野ざらし紀行の旅立の折の吟。旅の途中倒れて餓餓になっても覚悟しては出て来たが、さすがに秋風は身にしみてやはりわびしいことだ。

優秀作品

〈師範・準師範の部〉



永田昇陽

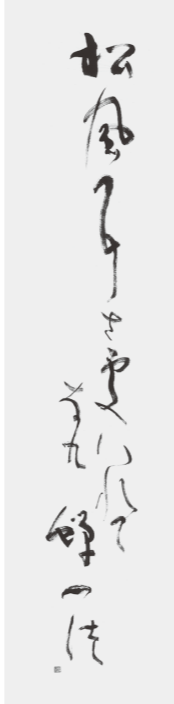
最後は右へ傾きすぎたが、緩急自在の線の表情に魅了される。



冬廣紫貴

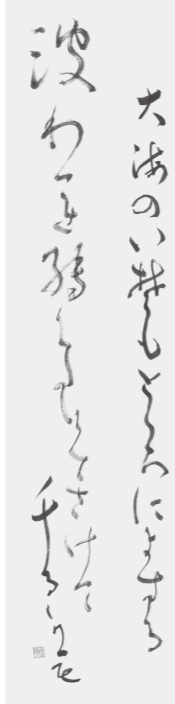
引き締まった線で、漢字と変体かな、平かなとの調和が見事。

〈助教以下の部〉



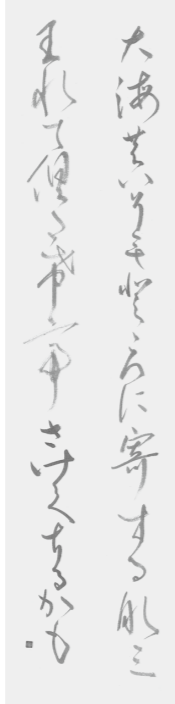
木村翠孝

濃い墨で、線の細太と潤濁変化を生かして見事。



福井亜季

確かな線でぐいぐいと書き進めているところに好感を持つ。

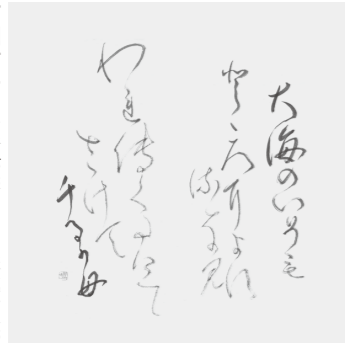


室田昌子

気脈が一貫して行立てが美しい。「希亭」は、どちらかを小さく。



山崎晴美 紙面を大きく使い、直線のな線で堅調な書きぶり。

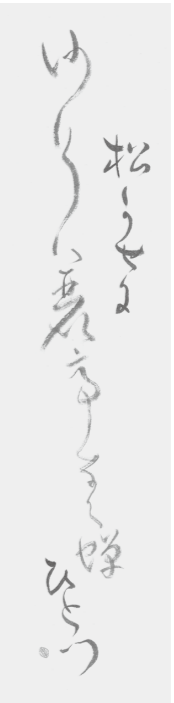


下岡信子 六行が響きあう構成で佳。線を少し太く、墨つきは四行目下で。



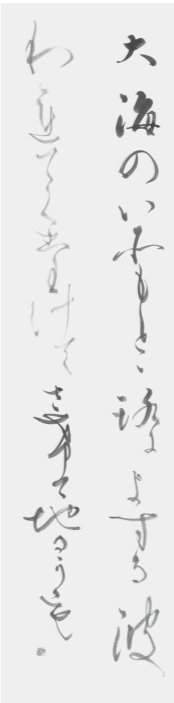
徳永溪雪

大きな構えの連筆で淀みない流れを作り美しく仕上がった。



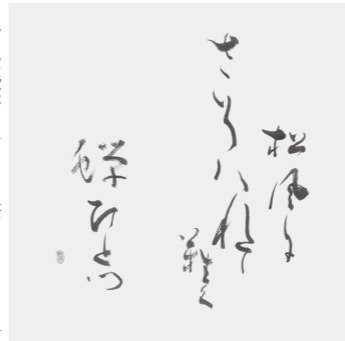
二宮由華

一貫したリズムで楽しい揺れが良い。「沙曾」連綿は一考。



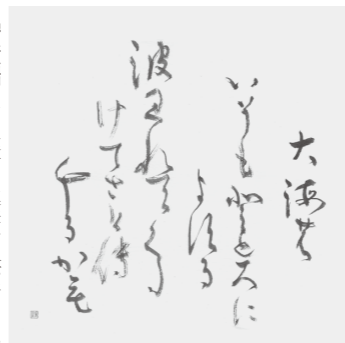
松本栖麗

文字造形と大小変化が美しい。「希」「毛」の反る線は控えめに。



井上桃華

冴えた線が広い周囲の余白に響いている。手慣れた安定の作。



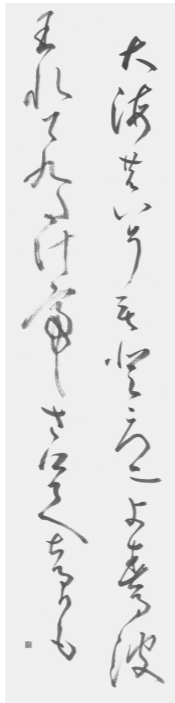
安積瑞泉

達者な連筆で線が冴えた。構成としては、中央に余白が欲しい。



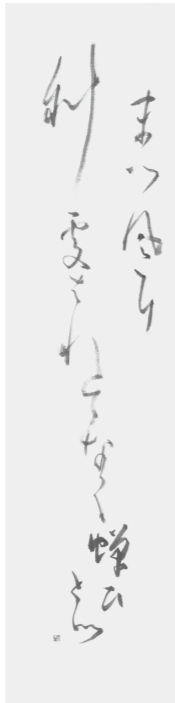
西村希美

前半の自然な書きぶりは見事。「蟬一つ」は小さく。



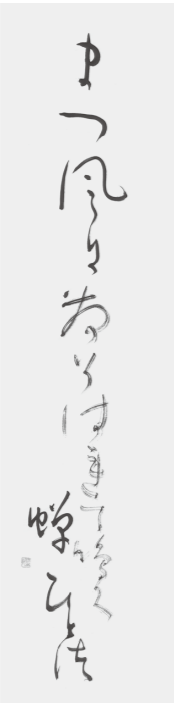
佐々木 優

大胆な筆致で、小気味よいリズムがあり痛快。



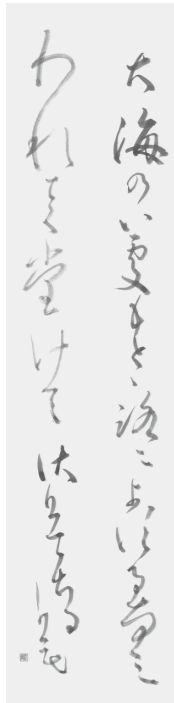
西垣早苗

山場の「斜」を大きくして効果的。連綿線は太く。



坂牧青煌

丸みのある懐の広い文字造形でおおらか。上部は良寛風で良い。



丹羽紫香

丁寧な連筆で落ち着きあり。次の課題として筆脈を大切に。